

日本国際教養学会 JAILA 第7回全国大会

鶴見大学・1号館402教室(15:00-15:30) 2018-03-10

# 擲銭法による易占での使用硬貨 に関するノート

大日本帝國硬貨と易占(←副題目追加)

増補版 2018.3.22

大橋 一隆

松土社企画 座長・世話人

[sym\\_ohashi@yahoo.co.jp](mailto:sym_ohashi@yahoo.co.jp)

★ご意見ご感想など、大歓迎です！

# 概要(改訂版)

易占において、卦を得る方法の一つに、硬貨を投げてその裏表により卦を得る方法があり、擲銭法と呼ばれている。擲銭法による実占での硬貨としては、乾隆通寶等の清朝の古銭や専用の風水銭などが使用されることが多い。本質的には裏表のある手頃な大きさの硬貨であれば良いので、本研究では、従来ほとんど用いられることのなかった大日本帝國硬貨について取り上げる。大日本帝國硬貨を使用する利点としては、並品以下の物の活用や西洋文明圏に対する易の紹介が容易になる等のメリットがあげられる。大日本帝國硬貨ならびに戦争後の日本政府の硬貨を活用するための目安についても考察する予定である。

# 発表内容 Japanese Coins & Iching

背景 経緯と動機

硬貨を利用した易占(擲銭法)概略

近代日本硬貨の利用について

長所と短所

日本貨幣カタログの活用法

どのようにデータを活用すれば良いのか？

シンボル、時間、材質、希少性など

その他(時間があれば)

# 発表の核心

易占に最適な硬貨等を探すための手がかり？

→ 日本貨幣カタログ(データ)の活用法

どのようにデータを活用すれば良いのか？

シンボル、時間、材質、希少性、種類など

# 背景 経緯と動機①

発表者が易占を始めようとしたが、使用する硬貨について詳細な記述がなかった。  
大半の書籍やネットの情報では、

清朝の古銭

風水銭

現行貨(例;100円玉と10円玉)

そこで、発表者自身で探すことにした。

# 背景 経緯と動機②

現行貨ではない

日本近代硬貨(大日本)に着目

理由; 大量に残存

種類が豊富

入手価格が安い!

ただし、金貨や銀貨は除く

# 硬貨を利用した易占(擲銭法)概略 ①

## 筮竹による実占法

略筮法 中筮法 本筮法

→ だいたい、略筮法、中筮法(=本筮法)で

## 擲銭法と筮竹による結果との比較

コイン6枚 1回の試行で、略筮法と同等の結果

硬貨3枚 6回の擲銭で、中筮法と同等の結果

## 硬貨を利用した易占(擲銭法)概略 ②

### 硬貨3枚による擲銭法(中筮法)の思想

6、7、8、9の数を6つ順番に並べると、  
六十四卦が得られる

→ 硬貨3枚の裏表により、6、7、8、9の数を  
得ることができ、これを6回順番に繰り返す

6; 老陰    7; 少陽    8; 少陰    9; 老陽

→陽

→陰

動(変爻)

静

静

動(変爻)



## 硬貨を利用した易占(擲銭法)概略 ③

使用する硬貨の裏表に数を割り当てる

裏・・・2

表・・・3

※裏と表は、年号の刻印されている面が裏。

自分で決めておいてもよい。

1回で3枚の硬貨を投げて裏表の枚数によって、6、7、8、9のいずれかの数を得ることができる

# 硬貨を利用した易占(擲銭法)概略 ④

実占例 (具体的な解説等は、省略)

|     | 裏 | 表 | 数 | 本卦 <sub>(ほんか)</sub> | 乏卦 <sub>(しか)</sub> |    |
|-----|---|---|---|---------------------|--------------------|----|
| 6回目 | 3 | 0 | 6 | --                  | —                  | 変爻 |
| 5回目 | 2 | 1 | 7 | —                   | —                  |    |
| 4回目 | 1 | 2 | 8 | --                  | --                 |    |
| 3回目 | 0 | 3 | 9 | —                   | --                 | 変爻 |
| 2回目 | 1 | 2 | 8 | --                  | --                 |    |
| 1回目 | 2 | 1 | 7 | —                   | —                  |    |

※占った時刻や対象となる事象の時刻を記録しておくが良い。

# 近代日本硬貨の利用について

## ①長所と短所（コインの表と裏みたいなもの）

状態の良くない硬貨を再生利用できる

→ 研磨等の加工が必要 手間暇かかる

（収集や保存のタブーに触れる可能性大）

異文化圏への易占の伝達が容易になる

→ 安易に扱ってしまう可能性が大

# 近代日本硬貨の利用について

## ②日本貨幣カタログ(データ)の活用法

シンボル

旭日(太陽)、龍、稻、菊、桐

材質

純金属 錫(スズ)、アルミ、ニッケル

発行年代

金種

## ③ETC(易に関する全般関係等)

実占での環境設定 天、地、人 聖なるもの

万年暦(時刻)の活用や他の占術との連携

数学的考察

# その他 近代日本硬貨にまつわるエピソード

明治3年発行開始の金貨は高い評価を受けた

世界の七大戦艦(ビック7)

日本 「長門」、「陸奥」

英国 「ネルソン」、「ロドニー」

米国 「コロラド」、「メリーランド」、「ウエストバージニア」

→戦前、戦艦や空母を自前で調達できた国は極わずか  
高い日本の工業技術・・・戦後の経済復興の基盤

※戦争を美化したりするのではなく、事実を基に考察

(メモ等)

# 参考資料

- 1) 「日本貨幣カタログ 2016年版」 日本貨幣商協同組合 2015
- 2) 「易学大事典」 平木場泰義 1993 東京堂出版  
※中筮法が詳細に記載されている
- 3) 「自分で答えをだしたい人のはじめての易占」 古藤友子 青土社2012
- 4) 「サイコロを使った 実占・易経」 立野清隆 五月書房 2006(新装版)
- 5) 「五行大義」(上、下) 中村璋八、古藤友子 明治書院 1998

※本資料の表現の一部に関しては歴史的背景を考慮しているが、戦争や軍国主義等への賛美を意図したものではありません。

# 増補1 (2018.3.22)

## 易占全般の約束事

- ①真摯な態度で臨み、神事などの聖なる儀式であることを念頭に執り行うこと
- ②占ってはいけないもの、「死」、「病」、「色(姦)」の3つ
- ③1回限りとする。都合の悪い結果が出ても、2回、3回などと複数回行うのは禁止。
- ④易占の内容を具体的にしておくこと。「私は今後幸福になりますか？」とかのあいまいなものではなく、例えば「明日、初対面のAさんと会う予定があるのだけど、不安なので、大丈夫なのか？」とような感じに。

## 増補2 (2018.3.22)

### 今後の課題など

- ①これまでの実占例の紹介
- ②実占への準備や具体的な方法に関する研究開発
- ③外国硬貨への応用
- ④易を数学的にどう解釈するのか？単なる二進数ではない
- ⑤ユングの指摘した集合的無意識との関連は、  
易においてどのようになるのであろうか？

(ユングは、タロットに興味を持ち、集合的無意識との関係について研究した)